

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

北海道帯広柏葉高等学校（北海道）

## 【取組内容①】 各教科等の特質や学習場面に応じたICT活用による協働的な学びの実践

## 目的

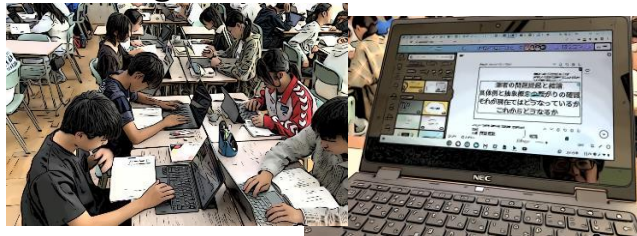
各教科等において、教科の特質や学習場面を踏まえて、効果的にICTを活用し、協議等を行うことにより、協働的な学習のあり方について理解を深め、学校全体で授業改善を図る。

## 取組の具体

協働的な学びの充実を図るため、各教科等において、Google ClassroomやGoogleスライド、Google Jamboard、無料アプリなどを用いた意見整理や協働制作に取り組んだ。

## 【国語科・現代の国語（1年）】

人工知能に関する『人間にできて機械にできないこと』の文章を読み、本文の内容をクラウドで同時編集できるアプリを用いてグループでまとめ、筆者の問題提起と結論を導いた。さらに、ワールドカフェにより、各グループの内容を共有し、その内容を論文化してGoogleサイトに公開した。



## 【外国語科（英語）・論理・表現Ⅱ（2年）】

『Is social media safe?』の単元において、高校生から中学生へ与えるアドバイスを考え、その内容をクラウドで同時編集できるアプリを用いてまとめ、クラス全体で共有することにより、主体的・対話的な学びを促進した。



## 成果

学校全体で本事業に取り組むことにより、ICT活用に対する教員の意識が変化し、協働的な学習場面においてICTを工夫して活用する教員が増加した。